

はじめにお読みください

設定ガイド

Android 5.0対応版

このたびは、GALAXY Tab S (以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本書では、本製品をお使いになるための設定とご利用上の注意点を記載しております。基本的な操作については、本製品同梱の「取扱説明書」をご参照ください。さまざまな機能の説明については、本体内で利用できる「取扱説明書アプリケーション」をご参照ください。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



発売元：KDDI (株)・沖縄セルラー電話 (株)
 輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.
 製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.
 2015年8月第1版 Code No.:GH68-42615A (Rev.1.1)

- **基本操作**
本製品の基本的な操作や各部の名称を説明しています。
- **初期設定**
初めて電源を入れたときに表示される初期設定画面に従って、Googleアカウントの設定などを行います。Googleアカウントの設定を行うと、Google社のアプリケーションを利用できます。また、Gmailのメールアドレスが自動的に作成されます。
- **auかんたん設定**
au IDやau Wi-Fi SPOTなどの設定をまとめて行えます。
- **メールの設定**
Eメール (@ezweb.ne.jp) を利用するために行います。初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まりますが、Eメールアドレスは後から変更できます。
- **連絡先をインポート/エクスポートする**
これまでお使いのau電話から、連絡先データを移行します。
- **microSDメモリーカードにバックアップする**
カメラで撮影した画像などのデータをmicroSDメモリーカードにバックアップします。
- **電池消費を軽減する**
電池の消費を抑えるための設定について説明しています。

基本操作

詳しい操作方法については、本体内で利用できる「取扱説明書」アプリケーションやauホームページより「取扱説明書 詳細版 Android5.0対応版」をご参照ください。



通知パネルを開く



通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開き、通知の概要を確認できます。

項目を選択するには



表示された項目やアイコンを選択するには、画面を指で直接タップします。

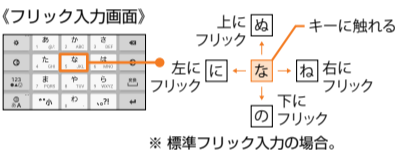
文字入力方法

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
ソフトウェアキーボード
 「QWERTYキーボード」(ローマ字入力)、「テンキー」(かな入力)の2種類のキーボードを切り替えて使用できます。



「**✳**」をタップ (表示されていない場合は、図の位置にあるキーをロングタッチしてください) して表示されるメニューから「テンキー」や「QWERTYキーボード」をタップすると、「テンキー」「QWERTYキーボード」を切り替えることができます。

フリック入力
 「テンキー」キーボードの場合、キーに触れると下の画面のようにフリック入力でき入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。



初期設定

初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。表示に従って設定を行ってください。
 ※ 設定時の条件によっては、設定できる内容や画面表示が異なる場合があります。

STEP START



- 「日本語」をタップすると、使用する言語を変更できます。

STEP 1：無線LAN (Wi-Fi®) 機能の設定

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
 ※ パスワード (セキュリティキー) はアクセスポイントで設定されています。あらかじめご確認ください。



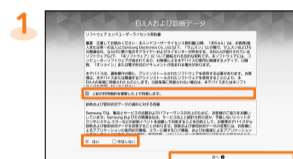
接続するWi-Fi®ネットワークをタップ
 ※ 設定しない場合は [次へ]



パスワード (セキュリティキー) を入力→ [接続] → [次へ]

- 接続するアクセスポイント機器がWPSのプッシュボタン方式に対応している場合は、手順1で [WPS] → [WPSプッシュボタン] と操作し、アクセスポイント機器側で2分以内にWPSボタンを押すと、Wi-Fi®ネットワークに接続できます。
- 接続するアクセスポイント機器がWPSのPINコード方式に対応している場合は、手順1で [WPS PIN] → [WPS PIN入力] と操作し、アクセスポイント機器側でPINコードを入力すると、Wi-Fi®ネットワークに接続できます。

STEP 2：基本の設定



内容を確認 → 「上記の利用規約を理解した上で同意します。」にチェックを入れる → 「はい」 / 「今はしない」を選択 → [次へ]



お使いのAndroid端末からGoogleアカウントをコピーするかどうかを設定
 ※ ここでは「スキップ」をタップし、次へ進みます。

STEP 3：Googleの設定

Googleアカウントの設定を行うと、「Gmail」、「Google Play」、「Google+」などのGoogle社のアプリケーションを利用できます。また、Googleアカウントで設定したユーザー名から、Gmailのメールアドレス「(ユーザー名)@gmail.com」が自動的に作成されます。



[または新しいアカウントを作成]
 ※ すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、「メールアドレスを入力してください」欄をタップしてください。

- 手順1で「スキップ」をタップすると、Googleアカウントの設定を省略することができます (その場合、表示される画面に従って設定してください)。後からGoogleアカウントを設定するには、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [一般] → [アカウント] → [アカウント追加] → [Google] と操作し、表示される画面に従って設定してください。



お客様の「名」、「姓」を入力 → [次へ]



任意のユーザー名を入力 → [次へ]
 ※ 入力したユーザー名が使用できない場合は、別のユーザー名を入力する画面が表示されます。



パスワードを入力 → パスワードを再入力 → [次へ]



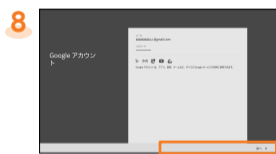
パスワードを忘れた場合の電話番号を入力 → [次へ]
 ※ 電話番号の先頭は国番号です。日本は「+81」です。国番号に続いて、通常の電話番号の先頭1桁を省略して入力してください。例えば日本の電話番号「090～」の場合、「+8190～」と入力します。



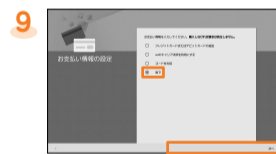
電話番号の確認に関する注意画面が表示された場合、内容を確認 → [確認]
 ※ [確認] をタップすると、入力した電話番号にSMSが送信されます。



内容を確認 → [同意する]



内容を確認 → [次へ]



お支払い情報の設定をするかどうかを選択 → [次へ]
 ※ ここでは「後で」をタップし、次へ進みます。



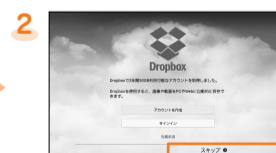
内容を確認して [次へ]
 ※ 利用しない項目はチェックを外します。

STEP 4：セットアップ完了

本製品を使用する準備が整い、セットアップ完了画面が表示されます。



必要に応じてGalaxyアカウントの設定を行う
 ※ 設定しない場合は [スキップ] → [スキップ]



必要に応じてDropboxのアカウントの設定を行う
 ※ 設定しない場合は [スキップ]



必要に応じてデバイス名称を変更 → [完了]

- 手順3の後に「マルチウィンドウ」に関するポップアップが表示されます。内容を確認し [OK] をタップしてください。[ヘルプ] をタップすると、詳細を確認できます。

STEP 5：auかんたん設定

au IDやau Wi-Fi SPOTなどの設定をまとめて行えます。au IDをご登録いただくと、「auスマートパス」や「Google Play」に掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。本製品で au ID を新規作成するか、またはすでにお持ちの au ID を利用することもできます。
 ● 他のユーザーと重複するau IDは登録できません。
 ● 初期設定完了後にホーム画面で [] → [auかんたん設定] と操作してもauのサービスを設定することができます。



[次へ]



[au IDを設定する] → [次へ]



[au IDの設定・保存]



暗証番号を入力 → [OK]
 ※ 初期値はご契約時にお客様が記入した4桁の暗証番号です。

5 パスワードを入力 → [設定]

6 完了画面が表示される → [終了]

7 アップデートを利用する場合は、「アップデートする」を選択 → [次へ]
※ 利用しない場合は「アップデートしない」を選択して「次へ」をタップして進んでください。

8 初期設定の利用規約を確認 → 「同意する」を選択 → [次へ]

9 内容を確認して [同意する]
※ Lookout for auの事前設定が完了します。
※ 機種変更などで復元するデータがある場合、「データの復元」画面が表示されます。画面に従って操作してください。

10 内容を確認して [次へ]
※ 機種変更などでアプリのダウンロード履歴がある場合、「アプリの復元」画面が表示されます。画面に従って操作してください。

11 インストールするアプリにチェックを入れる → [次へ]

12 [終了する]

メールの設定

■ Eメールの初期設定をする

Eメール (@ezweb.ne.jp) のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
● au電話からの機種変更の場合、初期設定を行うと、以前ご使用の機種で利用していたEメールアドレスがそのまま継続されます。

1 ホーム画面で [Eメール]

2 内容を確認 → [接続する]

3 初期設定が完了し、Eメールアドレスが表示される → [閉じる]

● 「KDDI Eメールアプリへようこそ！」画面が表示された場合は、内容を確認して「閉じる」をタップしてください。

■ Eメールアドレスを変更する

初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まりますが、初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。

1 ホーム画面で [Eメール]

2 [Eメール設定]

3 [アドレス変更・その他の設定]

4 内容を確認 → [接続する]

5 [Eメールアドレスの変更へ]

6 暗証番号を入力 → [送信]

7 内容を確認 → [承諾する]

8 Eメールアドレスを入力 → [送信]

9 [OK]

10 [閉じる]

1 Eメール設定画面で [Eメール情報]

2 Eメールアドレスが表示される

Eメールアドレスを確認するには

■ Eメールをバックアップする

Eメールを本体内のメモリまたはmicroSDメモリカードにバックアップできます。また、バックアップしたデータをEメールへ復元することもできます。

1 Eメール設定画面で [バックアップ・復元]

2 [メールデータバックアップ] → [OK]
※ メール設定を含めすべて保存するときは [まるごとバックアップ]

3 文字コード選択 → [OK]

4 メール種別選択
バックアップするメール種別にチェックを入れる → [OK]

● microSDメモリカードが本製品に挿入されている場合は、データはmicroSDメモリカード内にバックアップされます。

連絡先をインポート／エクスポートする

これまでお使いのau電話から、microSDメモリカードやau Micro IC Card (LTE)を使って本製品に連絡先データを移行することができます。
※ これまでお使いのau電話から、あらかじめmicroSDメモリカードやau Micro IC Card (LTE)に連絡先データを保存しておいてください。

1 アプリ一覧画面で [連絡先]

2 [設定] → [連絡先をインポート／エクスポート]

3 [システムメモリ(本体)からインポート] / [外部SDカードからインポート] / [SIMカードからインポート]

4 [本体] / 同期中のアカウント
※ 連絡先データがインポートされます。複数の連絡先データが保存されている場合は、手順5に進みます。

5 インポートしたい連絡先データを選択 → [OK]
※ au Micro IC Card (LTE)からインポートする場合は、インポートしたい連絡先データにチェックを入れ、「完了」をタップします。

● 連絡先をエクスポートするには、手順3で「システムメモリ(本体)にエクスポート」 / 「外部SDカードにエクスポート」 / 「SIMカードにエクスポート」をタップします。大切なデータを守るため、定期的にエクスポートすることをおすすめします。

microSDメモリカードにバックアップする

マイファイルを利用して、本体内のデータをmicroSDメモリカードにバックアップできます。
※ カテゴリ一覧画面で「システムメモリ (本体)」は本体内のメモリ、「外部SDカード」はmicroSDメモリカードを示しています。

■ 例: カメラで撮影したデータをバックアップする

1 ホーム画面で [マイファイル]

2 [システムメモリ (本体)] → [DCIM] → [Camera]

3 [マイファイル] → [選択] → バックアップするデータにチェックを入れる

4 [マイファイル]

5 [外部SDカード] → 保存するフォルダを選択 → [ここに貼付]
※ [マイファイル] → 「フォルダ作成」をタップすると、新規にフォルダを作成できます。

● バックアップしたデータを本体内に戻す場合は、microSDメモリカード内のデータを元の場所にコピーします。
● Eメールを復元する場合は、Eメール設定画面で [バックアップ・復元] → [メールデータ復元] → 復元するメール種別をタップ → [OK] → 復元するバックアップデータにチェックを入れる → [OK] → [追加保存] / [上書き保存] → [OK] と操作します。

■ 本体内の主なデータ保存場所

データの種類	データ保存場所	
カメラで撮影したデータ	システムメモリ (本体) > DCIM/Camera	
Eメール	受信メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/RE
	送信済メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/SE
	未送信メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/DR
	受信メールで添付データを保存した場合	システムメモリ (本体) > private/au/email/MyFolder
	受信メールで本文に挿入されている画像を保存した場合 (D絵文字を含む)	システムメモリ (本体) > private/au/email/MyFolder
ブラウザから保存した画像などのデータ	システムメモリ (本体) > Download	



※ Eメールアプリでデータが本体内にバックアップされた場合の保存場所です。

電池消費を軽減する

■ 省電力を設定する

電池残量が少なくなったときに、自動的に省電力モードに移行するように設定します。

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [一般] → [省電力]

2 [省電力モード] / [ウルトラ省電力モード] → 「」をタップして「」にする → 各項目を設定する

● 「ウルトラ省電力モード」に設定すると、画面の色がグレースケールになり、必要なアプリと選択したアプリのみにアプリの使用を制限します。